

平成 26 年度自己点検・自己評価の結果概要

自己点検・自己評価の取り組みの経過

本校では、学校教育法により、平成 24 年度から自己評価委員会を立ち上げ、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」（看護教育問題研究会監修メジカルフレンド社）に基づき 9 項目の自己点検・自己評価を実施してきました。

特に、平成 26 年度は「IV 教授・学習・評価過程」及び「VIII 地域社会」について外部評価を受けました。

平成 26 年度の重点的取り組み

平成 26 年度は、平成 25 年度からの継続的取り組み事項に加え、下記の取り組みを重点的に行いました。

1. 広報活動の充実：ホームページの更新、高校教諭対象の学校説明会・実習病院見学会
2. 地域社会との交流：学生及び教員の地域活動への積極的参加
3. 外部者評価実施：外部講師会議、開かれた学校作り委員会への参加とアンケート調査

評価項目等

評価項目：9 大項目（9 カテゴリー） 126 小項目

評価基準：3 段階評価（3:あてはまる 2:ややあてはまる 1:あてはまらない）

評価時期：中間評価 平成 26 年 10 月 年度評価 平成 27 年 2 月

外部者評価：平成 26 年 11 月（地域住民） 平成 27 年 1～2 月（外部講師）

評価者：教職員 13 名（事務職員は教育内容に関する評価項目等一部除外）

外部者評価 24 名（地域住民 20 名、外部講師 4 名）

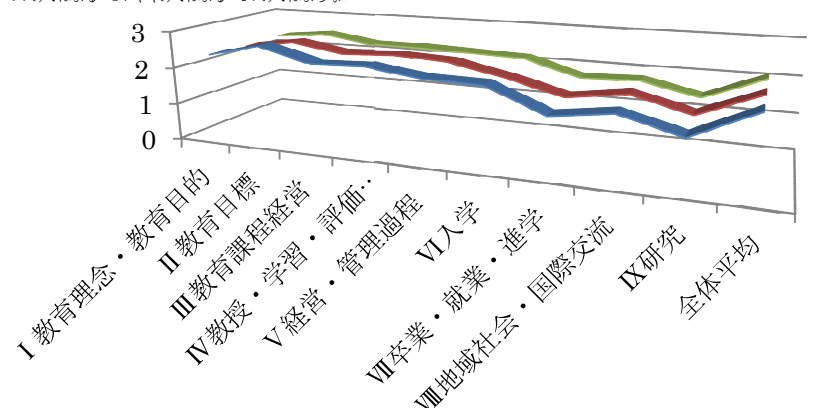
結果

自己評価の結果、課題となった項目について、教職員で共有し改善に取り組んだところ、全体平均点は毎年徐々に上昇しています。

なお、重点的に取り組んだ「IV. 教授・学習・評価過程」については一部低下していますが、これは評価者である教員が取り組みを進める中で、発展的課題が増え自己評価が厳しくなったためと考えます。取り組みの成果は、国家試験合格率の上昇にもあらわれています。

外部評価では、地域住民から本校の実態が見えにくいという評価を受けましたが、本校への関心が高く看護教育への協力支援に繋がること示唆されました。

3:あてはまる 2:ややあてはまる 1:あてはまらない



	H24	H25	H26
I	2.33	2.30	2.35
II	2.67	2.51	2.50
III	2.29	2.27	2.27
IV	2.34	2.34	2.26
V	2.14	2.27	2.22
VI	2.11	1.96	2.17
VII	1.49	1.57	1.74
VIII	1.70	1.79	1.79
IX	1.29	1.40	1.46
平均	2.04	2.05	2.08

今後の対応

平成 24～26 年度 3 年間の取り組みで、本校における看護教育の現状を見直し、明らかになった改善点等については、継続的に取り組んでまいります。

全体的な評価が低い大項目 VII～IX については、目標・対策・評価指標等を明文化し、計画的に取り組んでいきたいと考えております。